

医療支援活動へ NY向け出発

AMDAの小西氏

米同時多発テロで大きな

被害を受けたニューヨーク市で緊急医療支援活動を行うため、国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市櫓津）の小西司・緊急救

援対策局長（三）が二十日、現地へ向け岡山を出発した
写真。

小西局長は同日午後四時半、ヘルメットや防じんマスク、聴診器などが入ったトランクを手にJR岡山駅から新幹線に乗り込んだ。二十一日に東京都の外科医小林直之さん（三）と合流し成田空港を出発する。

現地では被害状況を調査し、必要に応じて医療支援を行う。小西局長は「現在は米国の報復行動に焦点があたり、被災者の数やけがの程度などの情報が不足している。現地の様子を確認した上で、第二陣の派遣など検討したい」と話している。

